

DocuCentre-VI C2264のご紹介

ワークスタイルを、もっと自由にスマートに。



クラウド連携で、よりオープンに進化する
コンパクト、高画質、優れた操作性、高い視認性などに加え、クラウドサービスと複合機との有機的な連携により、オープンなコミュニケーション環境を実現するDocuCentre-VI C2264。業務プロセスの効率化によって一人ひとりのパフォーマンスを高めるなど、働き方改革を実現するためにお役に立ちます。

| コピー/プリント | スキャン ^{※3} | ファクス ^{※3} |
|---|---|--------------------|
| カラー/モノクロ 23 枚/分 ^{※1} | カラー/モノクロ 55 枚/分 ^{※2} | スーパーG3 対応 |
| モバイル対応・無線LAN対応・クラウド対応 | | |

● 標準 ○ オプション

| 商品名 | モデル | コピー | プリント | スキャン | ファクス | 自動両面原稿送り装置 | 自動両面出力 |
|---------------------|------------|-----|------|------|------|------------|--------|
| DocuCentre-VI C2264 | Model-CP | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● |
| | Model-CPFS | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

※1 A4ヨコ。 ※2 弊社標準原稿 (A4ヨコ) 200dpi、親長ボックスまで。自動両面原稿送り装置搭載機。 ※3 Model-CPはオプション。

DocuCentre-VI C2264の特長

充実の基本性能

上位クラスの出カスピードを実現
連続プリント速度カラー/モノクロ23枚/分により、生産性の向上に貢献します。
高精細モード搭載で高画質
LEDプリントヘッドを搭載、1,200 × 2,400 dpiの高画質で細線の再現性を高めました。
高速スキャン (自動原稿送り装置)
カラー/モノクロともに55枚/分でスキャン。紙文書の電子化もすばやく行えます。

モバイル連携

無線LAN対応でモバイルデバイスと連携
無線LAN (オプション) 対応でスマートフォンやタブレットなどのモバイルデバイスと連携し、スキャン、ファクス、プリントをすることができます。柔軟な働き方を支援します。
NFC対応でよりかんたんにプリント/スキャン
Android™端末からはタッチするだけで簡単にプリント/スキャンの設定が完了。面倒な設定は必要ありません。

クラウド連携 (オプション)

Cloud Service Hubで業務運用を円滑に
Cloud Service Hubを使って、主要クラウドストレージとの連携や、株式会社ミロク情報サービスのMJS-Connect、クラウド会計ソフトfreeなどの業務系クラウドサービスと連携することができます。
Working Folderと連携
富士ゼロックスのクラウドサービスWorking Folderとの連携で、電子文書の利用域が拡大し、場所にとられない働き方=働き方改革を推進、サポートします。

使いやすさと省エネ設計

スマート節電
“使うところだけ”に通電、消費電力を低減します。
静音、省スペース
A3サイズ対応でもコンパクトサイズを実現。待機時の動作音も小さく、静かなオフィスに置いても邪魔になりません。
複雑な機能や設定をかんたんに
カスタムUIパッケージ3が、良く使われる機能をよりかんたんに利用できるように、解決いたします。

富士ゼロックス東京株式会社

ビジネスパートナー営業本部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル 25F Tel 03-5908-3933

<http://www.fujixerox.co.jp/tkx/>

Xerox、Xeroxロゴ、およびFujixeroxロゴは、米国 Xerox 株式会社の登録商標であり、その他の商標は各権利者に帰属します。



今こそテレワークを！ 対応が迫られる「テレワーク」

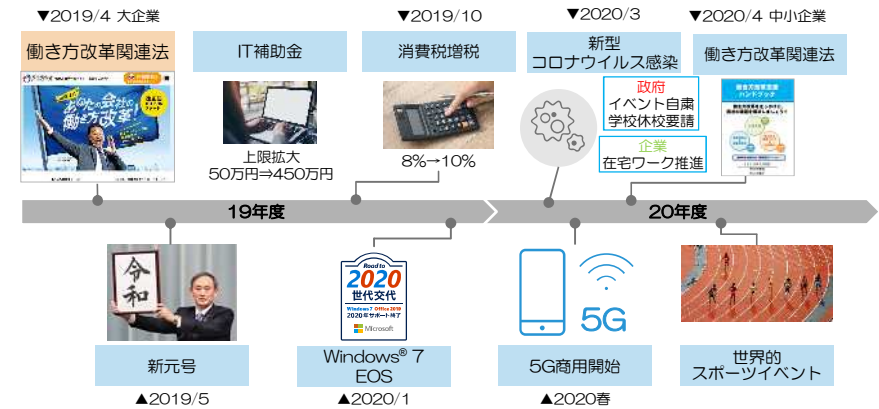


事業継続に最も大切な「業務をとめない」環境構築にむけて

さまざまな要因から、 テレワークによる早急な働き方改革が求められております

2019年度トピックス

市場・社会のさまざまな変化の中、テレワークによる働き方推進への要望が高まってきています。



出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/>)、「働き方改革支援ハンドブック」(中小企業) (<https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/index.html>)、首相官邸ホームページ (http://www.kantei.go.jp/jp/headline/singengou/singengou_sentei.html) より加工

昨今は事業継続性、働き方改革の観点からテレワークの積極的な推進・定着が必要になってきました。2020/03/12 世界保健機関 (WHO) が新型コロナウイルスの感染拡大を世界的な大流行状態である「パンデミック」と認定。新型コロナウイルス感染拡大に備え政府よりの対応要請もあり企業では時差通勤や在宅勤務体制が余儀なくされました。

時間や場所にとらわれず、柔軟な働き方を実現するポイントは「普段と同様に、まるで事務所にいるかのように働ける環境」を構築できることです。

テレワークは、多種多様な業種、職種で導入出来ますが、例えば、経理業務などは、毎日のように申請書や請求書が届き、在宅勤務やテレワークを導入したくても業務の特性上できない場合もございます。しかしながら紙の電子化、VPN接続を利用することで在宅勤務、テレワークを行うことも可能です。

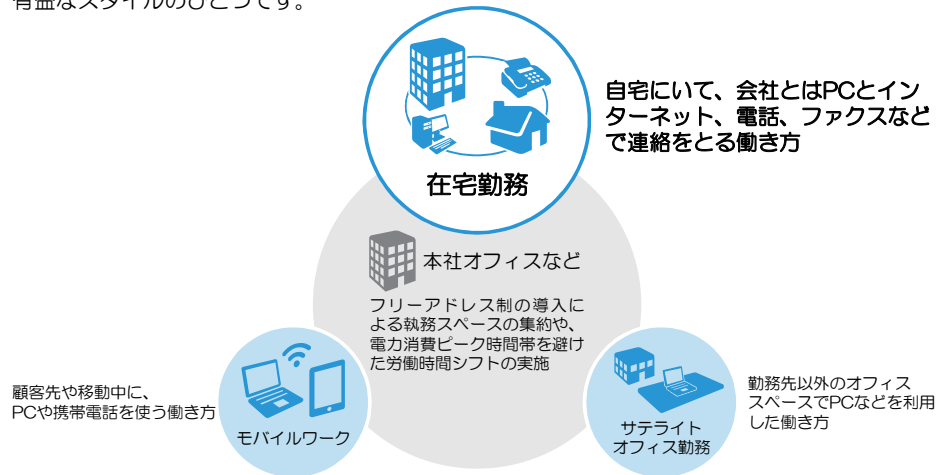
新型コロナウイルス感染拡大の影響は、当面続くことが予想されます。新型コロナウイルス感染症対策として新規で在宅勤務などのテレワークを導入する中小企業を対象に、助成金制度も始まりました。

厚生労働省のホームページhttps://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10037.htmlにて詳細が案内されています。

テレワークの対象は、今まで営業活動の方が主でしたが
内勤型の事務職の方についても対応できる仕組み作りが
必要となってきております

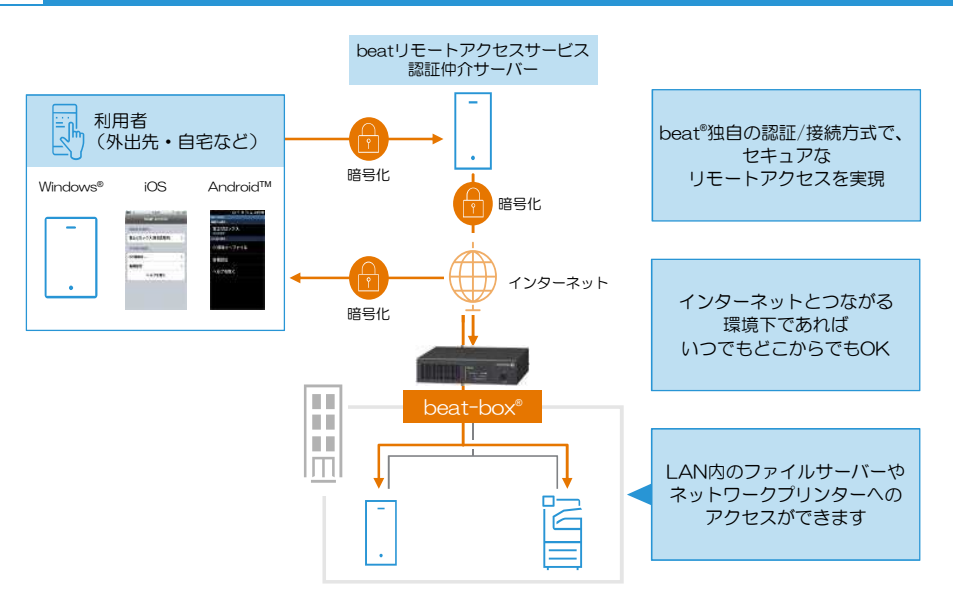
1 スタッフ（事務）向けのテレワークとは

テレワークとは、ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことを示します。働く場所によって「在宅勤務」「モバイルワーク」「サテライトオフィス勤務」の3つに分類され、特に社内業務が多いスタッフ（事務）にとっては自宅での在宅勤務は、有益なスタイルのひとつです。



ICTを活用した、場所にとらわれない柔軟な働き方ができます

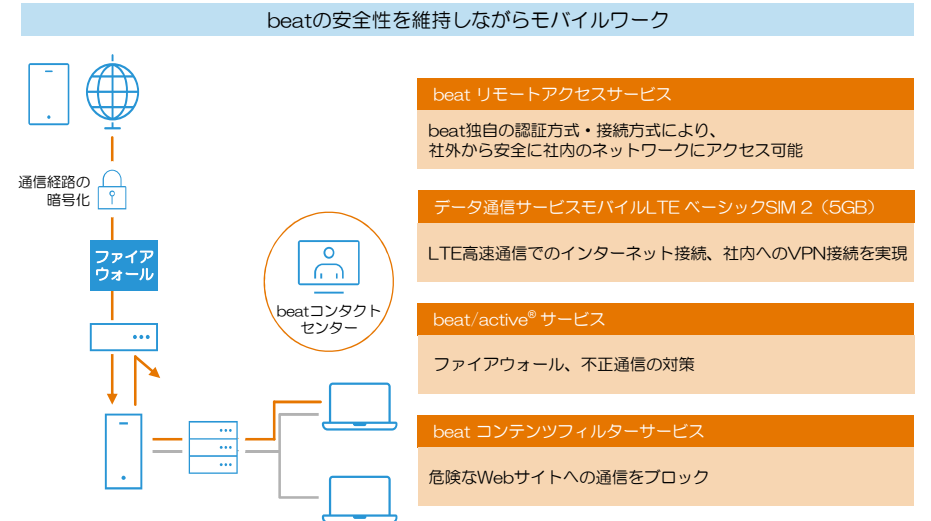
2 スタッフ（事務）向けテレワークの導入に向けて



3 富士ゼロックスがモバイル環境のセキュリティ強化を支援します！

テレワークパックのご紹介

働き方改革には欠かせないモバイルワーク。安定的なモバイル通信回線とセキュリティ対策が必要です。



beat/active サービス

- 進化するインターネットからの脅威や不正通信を検知・遮断
- コンテンツフィルターで不要なWebサイトへのアクセスを制限
- 24時間365日の遠隔監視で常に最新のセキュリティ状態を維持
- beatコンタクトセンターによる365日の電話による問い合わせ対応

データ通信サービスモバイルLTE ベーシックSIM

- NTTドコモのLTE Xⁱ®に対応しているため、安心のつながりやすさ
- 使いすぎても業務に十分な速度の確保（200kbps）
- 複合機の請求窓口で一歩。契約からサポートまでおまかせ

広いサービスエリア、ビジネスに適した使い勝手でごんなお困りごとを解決します

